

『表情をつけて伝えましょう』

子どもをほめたり怒ったりするときに、ママやパパたちはどう伝えていますか？

長々と話さず簡潔な言葉、わかりやすい言葉で伝えるのはもちろんですが、その時どんな表情を心がけていますか？

●喜怒哀楽は言葉と表情で伝えましょう

ママたちは叱ったつもりでも、口調や表情が笑っていたら、子どもは叱られたとは思わずに同じことを繰り返します。逆に、ほめているのに無表情や怒り顔をすると、子どもはほめられたと感じないことがあります。

子どもに話しかける時は、言葉とともに表情をつけて伝えることを心がけてください。

では、具体的にどんなことをすればよいのでしょうか。例えば、ほめる時に子どもをぎゅっと抱きしめること、場面に応じて「すごーい」などの感嘆の声を大きくあげること、してほしくないことをしたときに泣きそうな悲しい顔をする、などです。

●さまざまな方法で子どもに伝えましょう

大人の表情や気持ちを子どもがすぐに読み取ることは難しいと思いますが、子どもは大人の真似をすることが大好きなので、ママやパパの口調や表情を見て学んでいきます。言葉だけでなく、声色や表情を上手に使って、子どもに気持ちが伝わるほめ方・叱り方をしてみましょう。